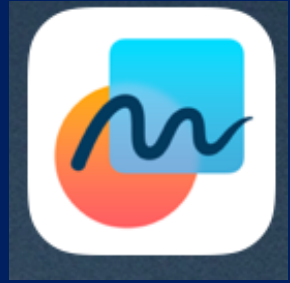


『よく見て、感じて、描こう』①

○使用したアプリ

フリーボード



○使用したアプリの概要

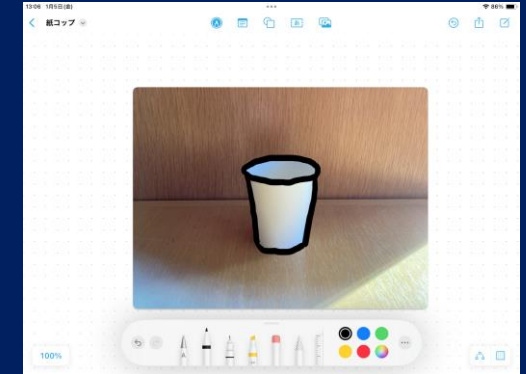
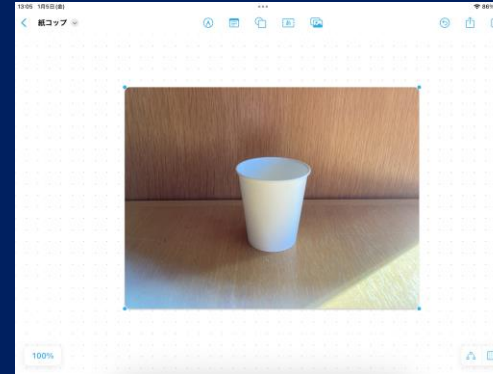
- ・デジタルな仮想ホワイトボードアプリケーション
- ・ページの制限なくテキストを入力したり写真を挿入したり絵を描いたりすることができる。

○このアプリを使った理由

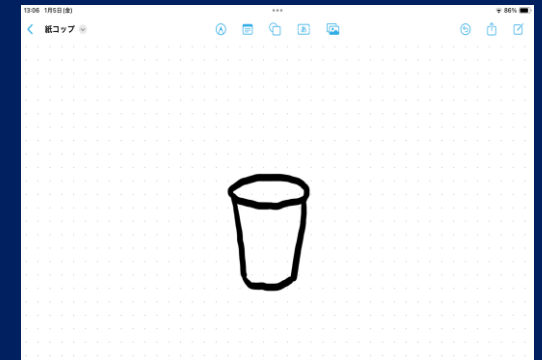
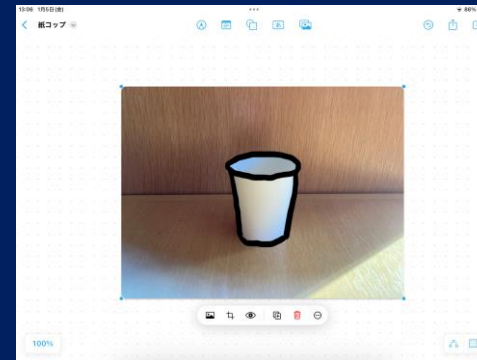
- ・描画機能を使い、写真の上に線を描くことができる。この機能によって輪郭をなぞることで立体を平面に容易に描くことができる。
- ・挿入した写真を削除することができる。この機能を使うことで、生徒が描いた線のみを残すことができる。

○アプリの使い方

- ①元となる写真を挿入する。 ②写真の上から輪郭をなぞる。



- ③挿入していた写真を消す。(写真を選択して  を押す)



※③のあと、上の  を押すことで、消した写真をもとに戻すことができる。

※線の色や太さなどを選択することができる。

『よく見て、感じて、描こう』②

(指導の形態)

- ・ 美術

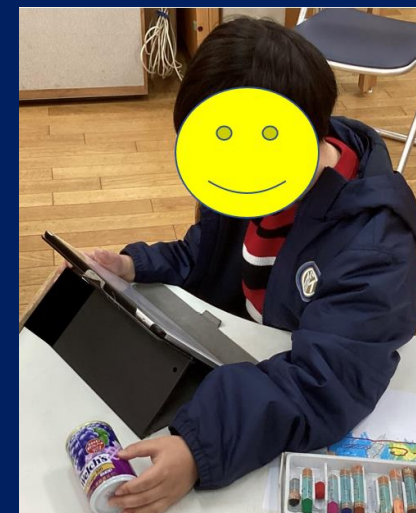
(目標)

- ・ 写真に撮った立体物の輪郭をなぞりながら、身近な立体物を描く。

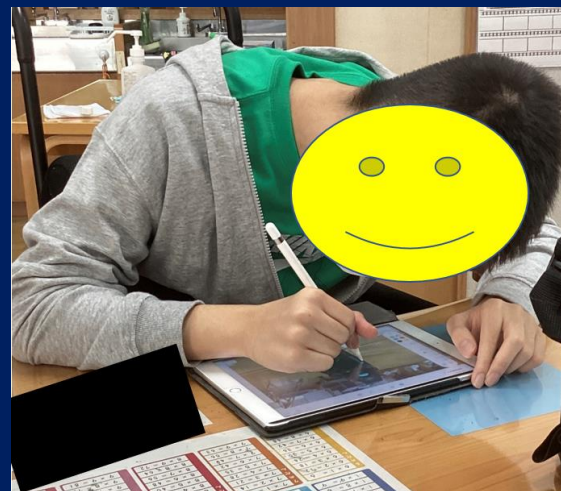
(取組の様子)

- ・ 写真をなぞることで、生徒がイメージした通りに作品を作ることができ、美術があまり好きではない生徒も意欲的に取り組むことができた。
- ・ 写真を削除したときに、足りない線を発見して付け足す生徒が見られ、立体物を平面に描き表すときに必要な輪郭線について学ぶことができた。
- ・ 描く物をよく見ることができるようになった。

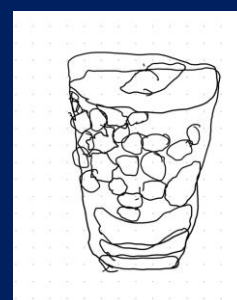
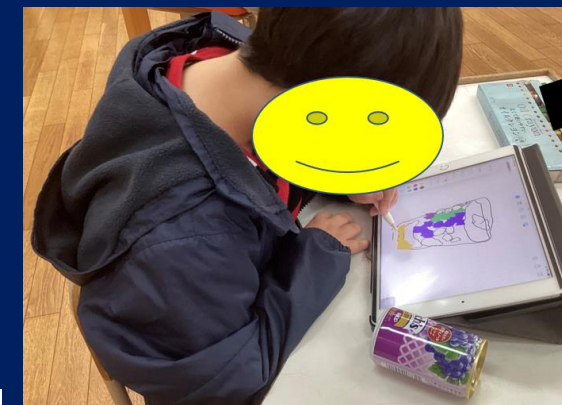
- ・ 構図を考え、描きたい物の写真を撮っている。▷



- ・ 写真の上からiPadPencilを使って輪郭を描いている。▽



- ・ 写真を削除している。▷



◁ ・ 作品